

下水道政策研究委員会 脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会**設立趣旨**

2050年カーボンニュートラルに向けて欧米先進諸国が2030年までの野心的な目標設定にコミットする中、我が国においても温室効果ガスの排出削減に関する2030年度の中期目標として、従来の2013年度比26%削減の目標を7割以上引き上げる46%削減を目指し、さらに、50%削減の高みに向けて挑戦を続けることとしている。

国土交通省においても、カーボンニュートラルの実現など、グリーン社会の実現に向けた「国土交通グリーンチャレンジ」として、2050年の長期を見据えつつ、2030年度までの10年間に重点的に取り組む分野横断・官民連携のプロジェクト、政策パッケージをとりまとめるとともに、「国土交通省グリーン社会実現推進本部」を設置し、総合的かつ効果的な環境政策を強力に推進することとしている。

下水道では、平成26年7月に下水道政策研究委員会がとりまとめた「新下水道ビジョン」に基づき、水・資源・エネルギーの集約・自立・供給拠点化を目指して各種対策を進めてきたところであるが、このような新たな動きを踏まえ、脱炭素社会実現に貢献し、地域の生活の安定、向上につなげることを目的に、「脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会」を設置するものである。

委員会では、脱炭素社会の実現に向けて目指すべき下水道の在り方や必要な方策、ロードマップ等について検討を行うものである。